

第4回 西鉄久留米駅周辺整備構想会議 会議録

日時：令和7年8月26日（火） 15:00～16:00

場所：久留米商工会議所 5階 大ホール

○出席者 12名（内、代理出席者1名）

（有識者）

趙世晨委員（会長）、大森洋子委員、吉城秀治委員

（交通事業者）

清水信彦委員、大石一紀委員

（地元まちづくり団体）

稗島行雄委員、瀧井明委員

（関係行政機関）

金井仁志委員、西亮委員、牧野浩志委員、堤真一郎委員

（オブザーバー）

高橋大地オブザーバー委員代理

○欠席者 1名

窪西駿介オブザーバー委員

○議事

1. 開会

2. 委員紹介

3. 議事

① 意見募集（パブリックコメント）の結果について

② パブリックコメント 意見の概要

③ 西鉄久留米駅周辺整備構想（案）

4. その他

- ・ 今後のスケジュール

5. 閉会

1. 開会

牧野副市長あいさつ

本日は第4回西鉄久留米駅周辺整備構想会議の開催にあたり、大変暑い中久留米にお越しくださりありがとうございます。

前回、委員の皆様にご意見をいただいて案として取りまとめたものを、6月にパブリックコメントを行いました。その結果、321名3団体の方々から意見をいただきました。内容を見ましたが、前向きな、西鉄久留米駅周辺の活性化に対する期待をひしひしと感ずるご意見をいただいております。本日は、その意見を基に、修正のたたき台を事務局で作成しておりますので、そちらについて、委員の皆様より議論をしていただき、西鉄久留米駅周辺の方向性を打ち出していきたいと思っております。それをふまえ、市の総合計画等にしっかりと反映させていくことで実効性を高めていきたいと思っております。

いずれにしても、市民の方々、関係団体の方々、色々な方々から西鉄久留米駅周辺への期待を感じた次第でございます。久留米市の顔となります西鉄久留米駅周辺をいかにリボーンさせていくかということについて、皆様からの忌憚のないご意見を期待しておりますので、ご議論の程、よろしくお願いいたします。

2. 委員紹介

3. 議事

事務局が一括して説明。

議事録

(会長)	ご意見、ご質問、コメントでも問題ありませんので、委員の皆様いかがでしょうか。
(委員)	パブリックコメントで多くの意見が集まっているということは、非常に関心が高いということだと感じました。また、大学の学生からも多くの意見をいただいた点も非常に喜ばしいことだと思います。スケートパーク等のアイデアは我々には気が付かない意見であり、大変参考になると思います。すぐには対応できない意見も多くありますが、今後のまちづくりに活かしていただきたいと思います。 構想の方針に対する意見はもうありませんが、今後の取組として、緑の多いまちなかづくりが重要だと考えており、建物の緑化やトラム線路敷の緑化などの事例を参考に、デザイン性と環境に配慮した整備をして欲しいと思います。今後の計画づくりの際には、効果的な緑の使い方について検討されるといいと思います。
(会長)	若い方々から出た意見を大事にしていくべきだという意見と、緑の使い方や環境、デザインを重視したまちづくりという大事なキーワードをいただきました。今年、建築学会の全国大会が福岡で開催されますが、グリーンインフラの講演があるなど、学会でも関心の高い項目となっています。
(委員)	素晴らしい構想だと思います。今後どのように実行していくかが重要になると考えていますが、バスタプロジェクトや市街地再開発事業、都市構造再編集中支援事業等に取り組んでいかれる際には、ぜひ大学生からの意見を活用していただきたいと思います。エリアマネジメントにも学生を加えるという話もありましたが、協議会を早急に立ち上げて、そこで若い人の意見を聞きながら実証実験をするなどをして、どのようなニーズがあるのか等を調査しながら進めてほしいと思います。最終的には、エリアマネジメントで PDCA を実行していけるような仕組みにしていきたいと思います。その中で、県として支援できることがあれば協力していきたいと考えています。
(事務局)	パブリックコメントで非常に多くの意見をいただき、若い人にも関心を持っていただいていると感じています。構想の実現に向けては、エリアマネジメントを行うなど、行政が生み出す空間を道具として活用していただける方を増やしていけるかが重要だと考えています。まずは、どのような人材がいるのかを調査し、連携を図りながら、構想の実現に向けて取り組んでいきたいと思います。また、動き出してから PDCA を実行しながら進めていきたいと考えています。
(会長)	県も協力していただけるとの言葉をいただきましたので、ぜひ連携してほしいと思います。

(委員)	バスターミナルと鉄道がシームレスに接続できるよう、我々はサポートしていく役割を担っていると思っています。バスターミナルについては、駅ビルの改修と一緒に考えていかないといけないと思っていますが、なかなか公共交通事業というのは、利益が少ない事業になりますので、バスタプロジェクトとして福岡国道事務所にご協力いただきながら、よりよいターミナルにしていきたいと思っています。 旧エマックスも駅の建て替えとまではいきませんでした。レイリアとして店舗のリニューアルをしており、駅東口の方に店舗の顔を向ける等で少しずつ賑わいが回復しているところです。先日の中心市街地の会議でも、大変ご評価いただきました。WeLove 久留米協議会にも協力いただきながら、まちづくりにも活用していただきたいと思います。また、様々なイベントでも活用していただきたいと思います。 今回、学生の意見も多くいただいています。次世代を担う若い方に活用していただけるような仕組みづくり・場づくりを今後も進めていきたいと思っています。
(会長)	バスターミナルと駅が一体的になる重要性についてのご意見でした。 今後の賑わい創出の仕組みづくりについて、若い方の意見を取り入れることについても意見いただきました。私も東口が変わったことにより、少しずつ雰囲気が良くなっていることを実感しています。
(事務局)	西鉄久留米駅の利用者は約3万人と九州内でも非常に多い駅であるため、若い方の力を活用しながら賑わいが波及していくよう、西鉄に協力いただきながら進めていきたいと思っています。 レイリアが開業して駅の雰囲気が良くなりました。こうした変化を少しずつでも加えながら、賑わいが広がっていくようにしていきたいと思っています。
(委員)	これまで10年以上、駅東口は暗くて危ないと言われていましたが、レイリア久留米が開業し、店も東側に開いたことで明るくなりました。若い人やファミリー層は、これまで暗いからとゆめタウン等に行っていました。今後は、周辺の古い施設を活用しながら、若い人やファミリー層がここに来て楽しめる場所にできるかどうか重要です。さらに、福岡から遊びに来たくなるようなコンテンツが作れるかが重要だと考えます。 昨年、駅前でワインのイベントがはじまりました。昨年は2,500人の来場者で今年は5,000人を目指しています。人が来たくなるものができれば人は来るということはわかっていますので、いいものが提供できればと思います。久留米大学や久留米工業大学等に西鉄久留米駅周辺を活用していただく場を提供できるように、ほとめき通り商店街とも連携を図ろうとしています。 将来に向けて少しずつ構想を実現して、5年後には良い形が見えてくれ

	ばと期待しています。
(会長)	東口の賑わいに変化が生じてきていること、福岡市からも久留米に来たくなるような仕掛けが必要、さらには大学と連携していくことが必要との意見でした。
(事務局)	レイリア久留米のオープンにより、東口が明るくなったという意見でした。東口に窓ができたことにより、お店を利用する人の目線も外を向くようになったことで、防犯面で良い効果が出ており、違法駐輪の防止にもつながっていると思います。明るくなって見る方が増えると、路上喫煙の防止などの効果もあるので、効果が波及するような取り組みができればと思います。 昨今はインターネットの普及で買い物だけではなかなか人は集まらないため、委員からアドバイスがありまして、そこでしかできない体験があることが重要だということで、若い人や民間事業者等の意見を聞きながら、どうやって実現していくかということは、エリアマネジメントに関わることだと思いますので、しっかり取り組んでいきたいと思っています。 今後は、交通結節機能の強化を図りながら、賑わいが生み出せるような活動も進めていくことが重要だと考えています。
(委員)	パブリックコメントでこれだけ多くの意見をもらっていることは非常に驚いているところです。市民の関心が高いということなので、これを活かしていくことが重要で、市民の意見をどう取り込んでいくかを考えていくステップになるかと思います。 現在、熊本市では、市役所の建て替えプロジェクトが進んでいますが、市民の意見を取り入れることが重要だということで、ワークショップ実施に加えて、ラボを設置しています。ラボでは、講師を呼んで勉強していただいてから市民に議論してもらおうという取組をしています。今後は、ワークショップの実施などは検討されると思いますが、市民がより進んだ議論ができるように、まずは勉強会を実施して議論を深めていくような取組を行って、この市民の熱量を次につなげるようにしてほしいなと思います。
(会長)	次のステップに向けての具体的なアドバイスをいただきました。専門家と市民とのワークショップや勉強会などを通して、濃厚な議論を行っていくことが重要だという意見でした。
(事務局)	今後のまちづくりに向けて、ワークショップの実施については重要だと思っていましたが、紹介いただいたラボのようなさらに踏み込んだものは考えになかったので、非常に参考になりました。他市の成功事例も参考にしながら、久留米市にとって効果的なことを考えて取り組んでいきたいと思っています。

(委員)	現状のバスは西口に集中しており、過去の会議でも東口に分散できればと発言していましたが、パブリックコメントでも同様の意見が出ており、利用者も同じように考えているのだなと改めて感じたところです。東口にバスを入れるようにするためには、バスタ構想も視野に入れながらの駅周辺整備の検討が必要になると考えています。 現状、土日のダイヤは平日よりも減っています。土日の活気を生み出すには、乗務員を確保してダイヤを提供できるようにしたいと思っています。レイリアの開業により、対前年比で約10%西鉄バス利用者が増加しました。また天神にワンビルができたことにより西鉄久留米駅のバス利用者数が増加しています。まちが変われば、人がたくさん集まるようになりますので、ご協力していければと思います。
(会長)	バスターミナル再編の必要性に対するご意見でした。 また、まちが変われば人が変わるということでした。ワンビルができたことは、もちろん福岡市内でも話題になりましたが、久留米市でもそのような効果が出ているというのは驚きでした。
(事務局)	西鉄久留米駅を利用される方が減ればバス利用者も減る負のスパイラルになるので、西鉄久留米駅周辺を整備して賑わいを創出することで利用される方を増やしていきたいと思っています。バスだけではなく周辺での経済活動を含めて久留米市の活気が生まれていくよう、構想を基に取り組んでいきたいと思っています。
(委員)	駅の東側には、久留米市美術館や公園などがあります。美術館では、面白い企画展を行っており、福岡市からも来ている人がいます。ただ、西鉄久留米駅から歩くには少し距離があるため、現状バスに乗る人が多いと思いますので、東側に向かう歩行者動線を整備することは重要ではないかと思います。歩きたくなるまちづくりとして500m以上にはなりますが、西鉄久留米駅で休憩される方も多いため、そういった方をまちに呼び込めるような回遊性を高めていくことが大事だと思います。 美術館は、久留米大学と久留米工業大学の学生は無料で利用できるので、学生の利用者も多いです。久留米市美術館や中央公園、西鉄久留米駅のつながり等をもう少し見えるようにしていただければと思います。
(会長)	回遊性についての意見でした。
(事務局)	久留米市には点として魅力的な施設があるが、それを線として結べる環境が整っていないということで、構想において回遊性の向上について記載しているところです。具体的にどのように回遊性を高めていくかということは、今後検討していきたいと思っています。
(会長)	学生が美術館を無料で利用できるのはとても良い環境だと思います。私

	も何度も利用しております。
(委員)	道路管理者としては、西鉄久留米駅周辺の交通をどのように円滑に、安全にしていくかというところを構想に基づいてお願いしたいと考えております。その中で、バス・タクシー・一般車等の乗降場の再配置というものを具体化する中で、バスタ事業というものが活用できれば、一緒になって検討していき、出来る支援はしていきたいと思います。バスタ事業も単純にバスターミナルを再編するものではなく、地域の課題解決がセットになって再構築していくものです。バスタ事業を具体化する際には、これまでの会議で共有された課題や回遊性の向上、歩きやすい・移動しやすい空間の確保など課題解決のための事業を進めていただきたいと思いますし、一緒になって考えていければと思います。
(事務局)	大変心強いご意見をありがとうございます。今後は、様々な関係者と連携を図りながら調整を進めていきたいと考えています。関係者の方々から多様なご意見をいただき、ご協力いただきながら、構想の実現に向けて取り組んでまいります。
(委員)	委員の皆様から、大きく5つの意見をいただいたと思います。そのうち3つは、構想の方針に関する意見でした。 1つは緑についてで、グリーンインフラの時代が来ているというご意見でした。構想の方針には記載がありますが、具体的にどのようにまちなかに緑を増やしていくかということだったと思います。アクロス福岡やシンガポールの緑化したビルがまちのシンボルとして機能するということが分かってきていますので、今後の整備にあたっては緑を意識して進めていきたいと思います。 次に交通結節点の重要性について意見がありました。これがまさに大きな課題で、交通結節点を改善することは、駅利用者が増え、まちに人がふえて、賑わいがさらに人を呼ぶという良いスパイラルにつながると思います。かつては、西鉄久留米駅の乗降客数が6万人いましたが、今は3万人弱と半減してしまっていることが、活力の減少の大きな原因になっていると思います。6万人の駅利用者がいたことが商店街の活力につながっていたと思いますので、便利な交通結節点を整備することは重要だと思います。整備にあたっては、バスタ事業も有効な手段だと思いますので、勉強させていただきたいと思っていますし、委員から重要な視点をいただきました。 3つ目が空間の活用ということの意見がありました。イベントは、単発ではまちづくりにはつながらず、イベントを日常化していくことがまちづくりにつながると考えています。東口は明るくなりましたが、こうした空間を活用して日常的になにかイベントをやっているという状況を目指して工夫をしていきたいと思っています。 次に、進め方について、若者の活力を活かすためのエリアマネジメントを行ってはどうかという重要な意見がありましたので、勉強させていただ

(会長)	きたいと思います。その中で、大学の先生などからレクチャーを受けてワークショップをしていく、ラボという方法を教えていただきました。構想の段階から具体的な絵に落とし込んでいくという重要なプロセスを行ううえで、ご意見いただいた進め方を活用していきたいと思います。 また、美術館の話もありました。素晴らしい企画展を知り合いに紹介して、美術館に来てもらいましたが、みんな車で来ていました。駅から美術館への行きにくさはハードルになっていると思います。焼き鳥を食べに行こうという話をしましたが、運転しないといけないのでお酒が飲めないとそのまま帰ってしまいました。このようなチャンスを失っている距離感とアクセス性の悪さがあると思います。そのため、公共交通で乗り換えもスムーズにできる空間づくりということが重要になると思いますので、車を使わなくていいような仕組みづくりもやっていければと思います。 今後は、いただいた意見を参考に、構想から具体化に向けてしっかりとやっていきたいと考えています。ご意見ありがとうございました。 本日、意見をいただいた内容は、将来に向けての前向きな意見が多かったと感じています。 構想案の修正が必要な意見はなかったと思いますので、事務局から提案された構想案で公表に向けて作業を進めていただこうと思いますが、よろしいでしょうか。 (各委員の異議なし) ありがとうございました。 それでは、進行を事務局へお返しします。
------	--

4. その他

事務局より、今後のスケジュールについて説明。

(質疑なし)

5. 閉会

趙会長あいさつ

皆様、本日は第4回目の西鉄久留米駅周辺整備構想会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の会議をもって、整備構想は最終確認の段階となりました。これまでご協力いただきました各委員の皆様には、心より感謝申し上げます。活発な議論と温かいご理解のおかげで、整備構想をまとめることができたと感じております。また、市民の皆様から寄せられた多数の貴重なご意見も踏まえ、久留米市民の方々が新しい西鉄久留米駅周辺に期待を抱いていることを強く実感しております。

整備構想を契機に、今後、西鉄久留米駅周辺がより魅力的で賑やかな地域として発展していくことを心から期待しています。さらに、新たな整備により、駅周辺が市民や駅利用者の皆様にとってより利用しやすく、かつ親しまれる都市空間となることを願っております。

これで、会議は閉会となり、委員の任期も構想の策定をもって終了となりますが、久留米市が持続可能で活力ある都市として発展していくためには、今後も皆様の力をお借りしながら整備を進めることが重要かと思いますので、その時は、ぜひお力添えいただければと思います。改めて、構想策定までの長い間のご協力に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

堤都市づくり推進担当部長あいさつ

都市建設部の堤でございます。

本日は、大変お忙しい中、また暑い中、ご出席いただき、誠にありがとうございました。これまでの会議では、多岐にわたる貴重なご意見をいただき、この会議が整備構想の策定に向けた重要な機会となりましたことを心より感謝申し上げます。市民の皆様の期待を持った構想になったのではないかと感じています。

今後についてですが、私たちは未来への第一歩として、全庁的に連携を図りつつ、構想の実現に取り組んでまいります。賑わいと魅力を持続させるためには、市民の皆様との共同作業、および官民の連携が重要です。また、次世代へのたすきをつなげていくことも大切だと考えておりますので、しっかりと取り組んでまいります。

そのためには、各団体の皆様や有識者の方々のご支援も不可欠でございますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、委員の皆様には心より感謝の意を表し、御礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。